2027年3月期
第2四半期決算説明会

1. 第2四半期決算の概要（連結）
2. 通期の業績見通し
3. 当社の経営戦略

2026年11月11日

日本光電工業株式会社

証券コード：6849

https://www.nihonkohden.co.jp

Fighting Disease with Electronics

NIHON KOHDEN

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

1 第2四半期決算の概要（連結）

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

1.1）エグゼクティブサマリー

2Qでは、海外が北米を中心に大幅増収、アボット影響除きで増益を確保

上期実績 YoY 売上高 △4.4%（為替・アボット影響除く＋2%）
営業利益 △40.5%

■ 売上高 国内△1%（アボット製品除く） 海外+6%（為替影響除く）
国内： 自社品は、機器、消耗品・サービスともに堅調
海外： 北米、中南米、欧州で、円ベース、現地通貨ベースともに二桁成長

■ 営業利益 商品ミックスの良化により粗利率は大幅改善。
国内での減収に加え、賃上げ対応等により販管費が増加し、減益

2Q実績 YoY 売上高 △3.7%（為替・アボット影響除く＋3%）
営業利益 △6.5%

■ 売上高 国内△2%（アボット製品除く） 海外＋10%（為替影響除く）
国内： 自社品は前年同期並み。現地仕入品の抑制、画像診断装置の供給遅延により他社品が減収
海外： 生体情報モニタの大口商談の納品が進んだ北米を中心に大幅増収

■ 営業利益 米国関税の還付もあり、アボット影響除きで増益を確保

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved 2

- 上期は減収減益となりました。

- 国内では、アボット製品を除く実質ベースでは、
  他社品の減少により減収となりました。
  自社品は、機器、消耗品・サービスともに堅調に推移し、
  増収を確保することが出来ました。

- 海外では、北米、中南米、欧州で好調に推移し、
  円ベース、現地通貨ベースともに二桁成長となりました。

- 営業利益は、粗利率が商品ミックスの良化により大幅に改善したものの、
  国内での減収に加え、販管費が増加したことから、減益となりました。

- 第2四半期会計期間では、
  海外で、生体情報モニタの大口商談の納品が進んだ北米を中心に
  大幅増収となり、現地通貨ベースでも二桁成長となりました。
  営業利益は、米国関税の還付もあり、
  アボット製品の影響を除くと増益を確保することが出来ました。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

1.2）エグゼクティブサマリー

自社品の販売に注力し、下期の営業利益は増益を目指す

通期見通し

■ 売上高　2,285億円（期初から△40億円）
国内：　期初から△75億円。アボット影響除く＋2%に見直し
上期における医療機器の設備投資に慎重な動き、他社品の供給遅延等の影響を反映
海外：　期初から＋35億円（為替＋51億円、アドテック社決算期変更＋14億円、実質△30億円）
円ベース＋13%、為替・アドテック社決算期変更影響除く＋6%に見直し

■ 営業利益　170億円（期初から△65億円）　売上高、粗利率が期初予想を下回る見込み。
販管費は為替・アドテック社決算期変更影響除くと抑制

下期見通し

■ 売上高　＋1桁半ば（為替・アドテック社決算期変更・アボット影響除く）；国内＋1桁前半/海外＋1桁後半

■ 営業利益　＋1桁後半。粗利率54%台、販管費の伸びを抑制

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 通期の業績予想は、上期の進捗と最近の業績動向を踏まえ、見直しました。

- 引き続き、自社品の販売に注力し、粗利率の改善、
販管費の伸びの抑制に努め下期の営業利益は増益を目指します。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

2）決算概要

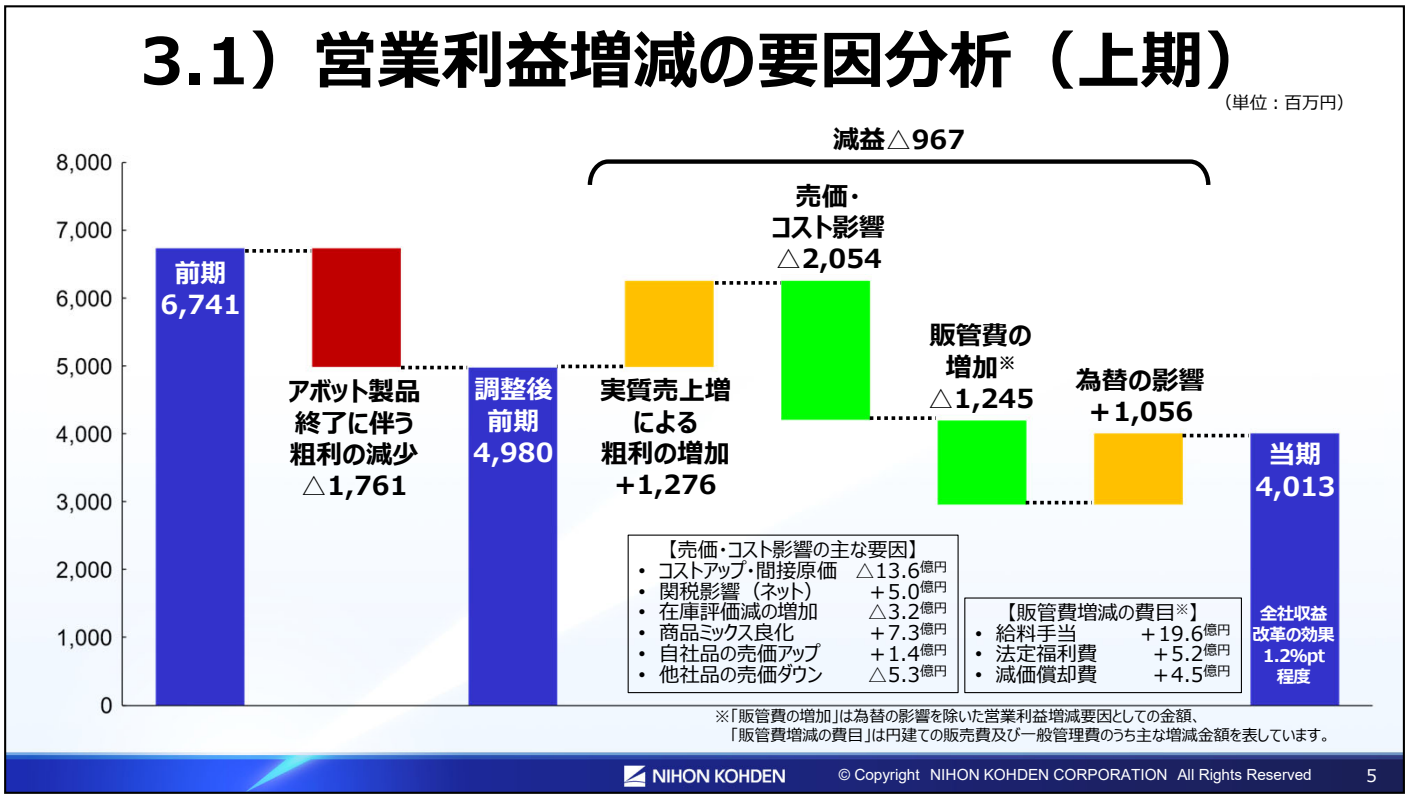
（単位：百万円、単位未満切捨て）

	2026/3 上期	2027/3 上期	増減率(%)		2026/3 2Q	2027/3 2Q	増減率(%)	
売上高	108,120	**103,369**	- 4.4	為替・アボット製品除く：＋2%	58,100	**55,963**	- 3.7	同左：＋3%
国内売上高	66,880	**55,733**	- 16.7	アボット製品除く：△1%	36,194	**29,652**	- 18.1	同左：△2%
海外売上高	41,240	**47,635**	15.5	為替影響除く：＋6%	21,906	**26,310**	20.1	同左：＋10%
売上総利益	56,798	**57,168**	0.7		30,481	**31,709**	4.0	
（売上総利益率）	52.5%	55.3%			52.5%	56.7%		
販管費	50,056	**53,155**	6.2		25,140	**26,712**	6.3	
（販管費率）	46.3%	51.4%			43.3%	47.8%		
営業利益	6,741	**4,013**	- 40.5		5,341	**4,996**	- 6.5	
（営業利益率）	6.2%	3.9%			9.2%	8.9%		
経常利益	6,732	**3,032**	- 55.0	為替差損：1.5億円 → 10.4億円	6,259	**3,371**	- 46.1	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,524	**1,976**	- 56.3		4,387	**2,732**	- 37.7	
平均レート（円）1米ドル/1ユーロ	146.7/166.8	160.2/185.4			147.0/170.7	160.8/185.4		

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 上期および第2四半期会計期間のPLはご覧のとおりです。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved



- 上期での営業利益増減の要因分析です。

- 実質売上増による粗利の増加は、12億円となりました。

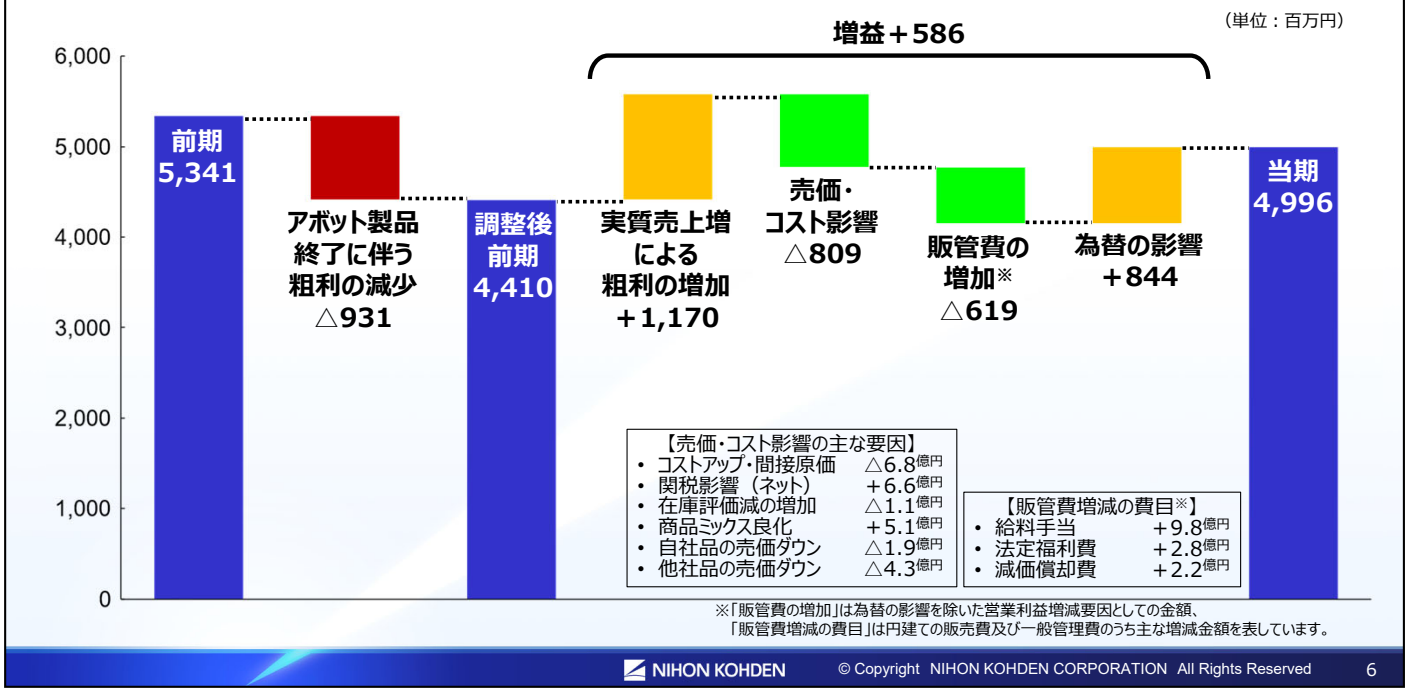
- 売価・コストにつきましては、
  関税の還付や商品ミックスの良化がプラスに寄与したものの、
  コストアップや他社品の売価ダウン等により、20億円のマイナス要因となりました。

- 販管費は、賃上げ対応等により、12億円のマイナス要因となりました。

- 為替の影響は、10億円のプラス要因となりました。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3.2）営業利益増減の要因分析（2Q会計）



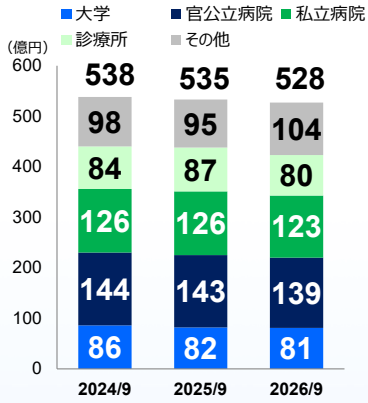
- 第2四半期会計期間での営業利益増減の要因分析です。

- 実質売上増による粗利の増加と為替のプラス影響で、
  売価・コストのマイナス影響および販管費の増加を相殺し、
  増益を確保することが出来ました。

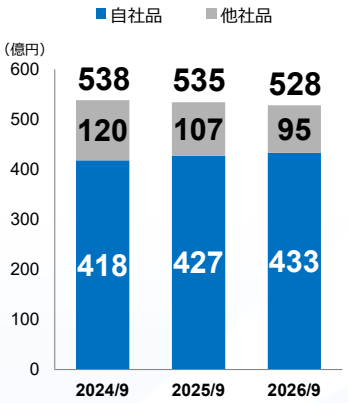
© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

4）国内売上高（アボット製品除く）

【市場別売上高】



【自社品/他社品売上高】



【商品群別売上高】

（単位：百万円）

国内売上高（アボット製品除く）	2026/3 上期	2027/3 上期	増減率（%）
生体計測機器	8,762	**8,886**	1.4
生体情報モニタ	19,990	**20,097**	0.5
治療機器	10,453	**9,967**	- 4.7
その他	14,314	**13,921**	- 2.7
売上高合計	53,520	**52,873**	- 1.2
（参考）			
医療機器	23,021	**23,009**	- 0.1
消耗品・サービス	30,499	**29,863**	- 2.1

【市場別】　大学、官公立病院、私立病院、診療所市場で前年同期を下回る。一方、企業向け検体検査装置・試薬が好調に推移し、その他市場で増収
【商品群別】 **自社品/他社品：** 自社品は、臨床情報システム、検体検査装置・試薬が好調に推移。他社品は、画像診断装置、現地仕入品が減収
生体計測機器： 心臓カテーテル検査装置群が好調に推移、脳神経機器も堅調。診断情報システムは前年同期並み。心電計群は減収
生体情報モニタ： 臨床情報システムが大幅増収となったほか、送信機が新製品効果もあり好調に推移。センサ類など消耗品は前年同期を下回る
治療機器： 取り扱いを終了した人工内耳など他社品が減収。AEDは2Q会計で増収に転じるも、上期では前年同期を下回る
その他： 画像診断装置、現地仕入品が減収。検体検査装置・試薬は二桁成長

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 国内売上高は、アボット製品を除く実質ベースでは、
  画像診断装置、現地仕入品など他社品の減少により減収となりました。

- 自社品は、臨床情報システム、検体検査装置・試薬が好調に推移し、
  増収となりました。

- 市場別では、大学、官公立病院、私立病院、診療所市場で減収となった
  一方、企業向けの検体検査装置・試薬が好調に推移し、
  その他市場では増収となりました。

- 商品別では、生体計測機器、生体情報モニタは堅調に推移したものの、
  治療機器、その他商品群が減収となりました。

- 生体計測機器では、心臓カテーテル検査装置群が好調に推移し、
  脳神経機器も堅調でした。一方、心電計群は減収となりました。

- 生体情報モニタでは、臨床情報システムが大幅増収となったほか、
  送信機が新製品効果もあり好調に推移しました。
  一方、センサ類など消耗品は前年同期を下回りました。

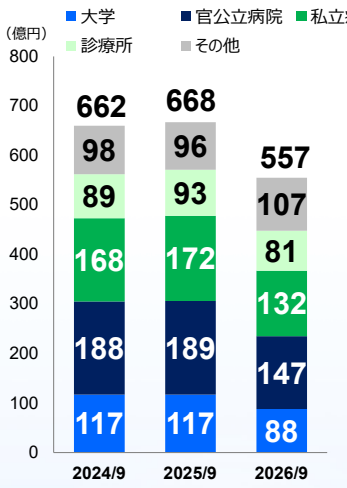
- 治療機器では、取り扱いを終了した人工内耳など他社品が減収となりました。
  AEDは第2四半期会計期間で増収に転じましたが、
  上期では前年同期を下回りました。

- その他商品群では、画像診断装置、現地仕入品が減収となりました。
  一方、検体検査装置・試薬は二桁成長となりました。

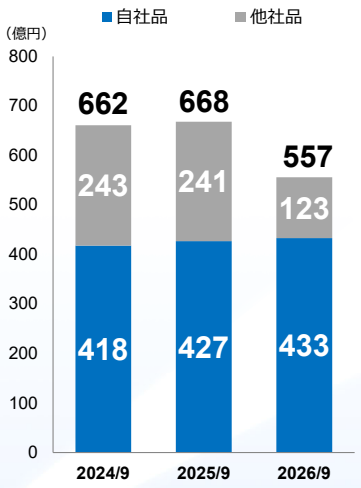
© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

［参考］国内売上高（アボット製品含む）

【市場別売上高】



【自社品/他社品売上高】



【アボット製品の業務引継ぎ】 26/9末までに98%程度完了、
26/12末までに100%完了予定

【商品群別売上高】

（単位：百万円）

国内売上高（アボット製品含む）	2026/3 上期	**2027/3 上期**	増減率（%）
生体計測機器	17,892	**10,911**	- 39.0
生体情報モニタ	19,990	**20,097**	0.5
治療機器	14,682	**10,802**	- 26.4
その他	14,314	**13,921**	- 2.7
売上高合計	66,880	**55,733**	- 16.7
（参考）			
医療機器	24,080	**23,310**	- 3.2
消耗品・サービス	42,800	**32,422**	- 24.2

うちアボット製品売上高	2026/3 上期	**2027/3 上期**	増減率（%）
生体計測機器	9,130	**2,024**	- 77.8
治療機器	4,229	**834**	- 80.3
売上高合計	13,359	**2,859**	- 78.6
（参考）			
医療機器	1,058	**300**	- 71.6
消耗品・サービス	12,301	**2,559**	- 79.2

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved 8

- アボット製品を含む国内売上高はご覧のとおりです。
  2026年12月末の取り扱い終了に向けて業務の引継ぎは
  予定どおり進んでいます。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

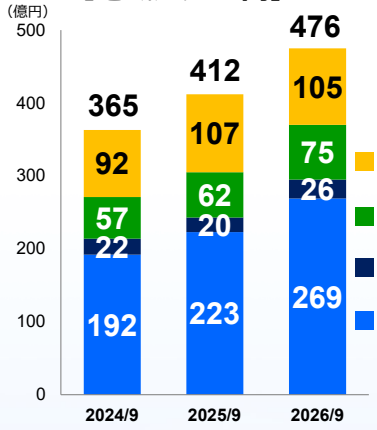
5）海外売上高

【海外売上高】前年同期比＋16%
（為替影響除く：＋6%）

【海外売上高比率】

2026/3 上期	2027/3 上期
38.1%	**46.1%**

【地域別売上高】



	前年同期比	為替影響除く
アジア州他	-1%	-8%
欧州	+21%	+10%
中南米	＋30%	＋17%
北米	+21%	＋10%

【商品群別売上高】

（単位：百万円）

	2026/3 上期	2027/3 上期	増減率（%）	為替影響除く（%）
生体計測機器	8,161	**9,110**	11.6	3
生体情報モニタ	17,568	**20,583**	17.2	7
治療機器	11,604	**13,584**	17.1	7
その他	3,906	**4,357**	11.6	3
売上高合計	41,240	**47,635**	15.5	6
（参考）				
医療機器	25,797	**29,340**	13.7	4
消耗品・サービス	15,442	**18,295**	18.5	9

【地域別】 北米、中南米、欧州で二桁成長。アジア州他では、前年同期に大口商談もあり好調だった中近東・アフリカを中心に減収
【商品群別】 **生体計測機器：** 欧州で脳神経機器、心電計群ともに大幅増収。北米、中南米で脳神経機器が二桁成長。アジア州他では前年同期を下回る
生体情報モニタ： 北米、欧州で二桁成長。中南米では円ベースで増収。アジア州他では前年同期を下回る
治療機器： 全ての地域で二桁成長。北米、中南米では人工呼吸器が大幅増収。欧州ではAEDが大幅増収。
アジア州他では人工呼吸器、除細動器、AEDが二桁成長

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

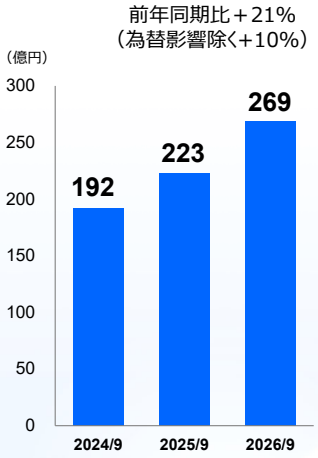
- 海外売上高は、北米、中南米、欧州が売上をけん引し、
  円ベースで二桁成長となりました。
  海外売上高比率は46.1%に上昇しました。

- 商品別では、全ての商品群で二桁成長となりました。
  現地通貨ベースでも、生体情報モニタ、治療機器が好調に推移し、
  生体計測機器、その他商品群も堅調でした。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

5.1）北米

- **2Q会計で生体情報モニタの大口商談の納品が進み、上期でも円ベース、現地通貨ベースともに二桁成長**
- **生体情報モニタ、人工呼吸器が大幅増収、脳神経機器も二桁成長。AEDは前年同期を下回る**



【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

- **生体計測機器：** ＋1桁後半
  脳神経機器、在宅睡眠記録装置が好調に推移
- **生体情報モニタ：** ＋10%台後半
  2Q会計で大口商談の納品が進み、
  機器、消耗品・サービスともに二桁成長
- **治療機器：** ＋1桁前半
  人工呼吸器が大幅増収。マスク型に加え、気管挿管型も好調に推移。
  AEDは前年同期を下回る

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 北米は、第2四半期会計期間で生体情報モニタの大口商談の納品が進み、
  上期でも円ベース、現地通貨ベースともに二桁成長となりました。

- 商品別では、生体計測機器は、脳神経機器、在宅睡眠記録装置が
  好調に推移しました。

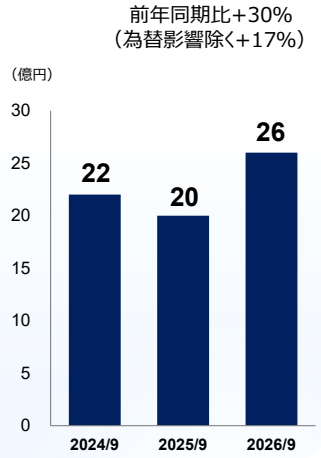
- 生体情報モニタは、機器、消耗品・サービスともに二桁成長となりました。

- 治療機器は、AEDは前年同期を下回ったものの、
  人工呼吸器が大幅増収となりました。
  人工呼吸器はマスク型に加え、気管挿管型も好調に推移しました。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

5.2）中南米

- **2Q会計にブラジル、メキシコで大幅増収となり、上期でも二桁成長**



【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

- **生体計測機器：** ＋1桁後半
  脳神経機器が二桁成長。心電計群は前年同期を下回る
- **生体情報モニタ：** △1桁後半
  前年同期に好調だったペルーで減収。ブラジル、メキシコでは好調に推移
- **治療機器：** ＋20%台後半
  人工呼吸器が大幅増収、除細動器、AEDも二桁成長
- **その他：** ＋30%台後半
  メキシコで医療機器の保守サービスが伸長

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 中南米では、第2四半期会計期間にブラジル、メキシコで
  売上が大幅に増加し、上期でも二桁成長となりました。

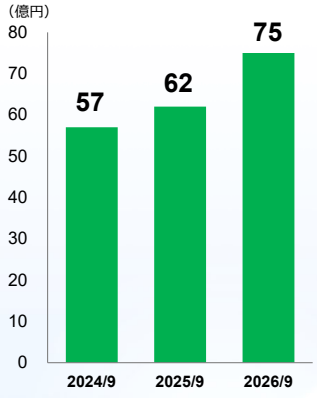
- 商品別では、生体情報モニタは減収となったものの、
  その他商品群、治療機器、生体計測機器が好調に推移しました。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

5.3）欧州

● **オランダ、ドイツに加え、大口商談を獲得したギリシャ、ポーランド、イギリスで大幅増収**

前年同期比＋21%
（為替影響除く＋10%）



【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

- **生体計測機器：** ＋30%台前半
  ギリシャで大口商談を獲得した心電計が大幅増収。
  脳神経機器も二桁成長
- **生体情報モニタ：** ＋1桁後半
  ポーランド、イギリスで大口商談を獲得。ドイツも好調に推移
- **治療機器：** ＋10%台半ば
  オランダを中心にAEDが大幅増収
- **その他：** △30%台後半
  検体検査装置・試薬が減収

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

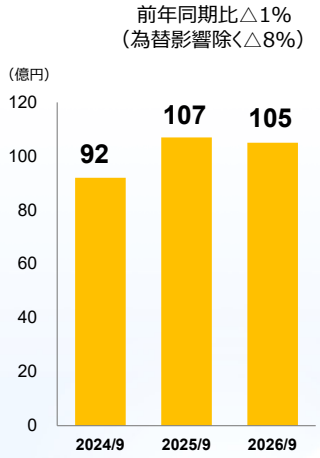
- 欧州では、オランダ、ドイツに加え、
  大口商談を獲得したギリシャ、ポーランド、イギリスでも大幅増収となりました。

- 商品別では、生体計測機器が大幅増収、治療機器が二桁成長となり、
  生体情報モニタも好調に推移しました。一方、その他商品群は減収となりました。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

5.4）アジア州他

- **2Q会計で前年同期に大口商談もあり好調だった中近東・アフリカで減収となったことなどから、上期でも前年同期を下回る**



【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

- **生体計測機器：** △20%台半ば
  脳神経機器、心電計群ともに好調だった前年同期を下回る
- **生体情報モニタ：** △20%台前半
  モロッコ、タイ、インドを中心に好調だった前年同期を下回る
- **治療機器：** ＋1桁後半
  サウジアラビアで大口商談を獲得した除細動器が好調に推移
  人工呼吸器、AEDも好調に推移
- **その他：** ＋1桁後半

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- アジア州他では、前第2四半期会計期間に大口商談の受注もあり
  好調だった中近東・アフリカで減収となったことなどから、上期でも減収となりました。

- 中東情勢につきましては、中近東や東南アジアの一部の国において、
  商談の停滞等が見られました。

- 商品別では、治療機器、その他商品群は好調に推移した一方、
  生体計測機器、生体情報モニタが前年同期を下回りました。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

［参考］商品群別売上高・粗利率

（単位：百万円）

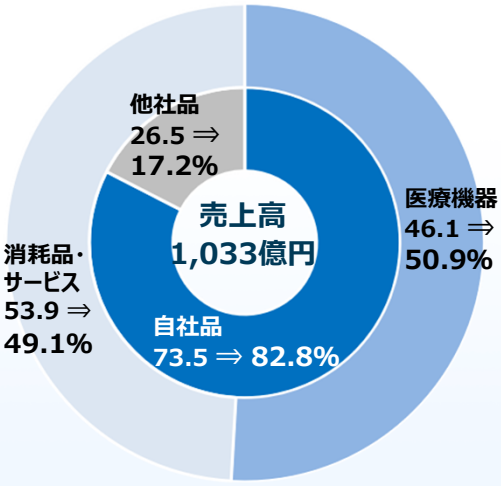
	2026/3 上期	2027/3 上期	増減率 (%)	アボット製品除く (%)
生体計測機器	26,053 (45%)	**20,021 (53%)**	- 23.2	6.3
生体情報モニタ	37,559 (65%)	**40,680 (64%)**	8.3	—
治療機器	26,287 (45%)	**24,386 (46%)**	- 7.2	6.8
その他	18,220 (49%)	**18,279 (51%)**	0.3	—
売上高合計	108,120 (53%)	**103,369 (55%)**	- 4.4	6.1

（参考）

医療機器	49,877 (54%)	**52,650 (55%)**	5.6	7.2
消耗品・サービス	58,242 (51%)	**50,718 (56%)**	- 12.9	4.8

※ 表の括弧内は、粗利率を示しています。

商品群別売上構成比
（2025/9 ⇒ 2026/9）



NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 商品群別の売上高、粗利率は、ご覧のとおりです。

- 生体情報モニタに加え、アボット製品を除くベースでは、
  治療機器、生体計測機器も好調に推移しました。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

［参考］商品群別売上高の内訳

（単位：百万円）

	2026/3 上期	**2027/3 上期**	増減率（%）
脳神経機器	7,780	**8,091**	4.0
心電計群	3,002	**3,058**	1.9
心臓カテーテル検査装置群 *	9,672	**2,603**	- 73.1
診断情報システム群	2,587	**2,599**	0.5
その他 ※	3,010	**3,669**	21.9
生体計測機器合計	26,053	**20,021**	- 23.2

※その他には、他社製の生体計測機器を含みます。

	2026/3 上期	**2027/3 上期**	増減率（%）
医科向け除細動器	4,066	**4,481**	10.2
AED	12,158	**12,518**	3.0
人工呼吸器	4,738	**5,972**	26.1
ペースメーカ･ICD *	1,357	**325**	- 76.0
その他 *	3,966	**1,089**	- 72.5
治療機器合計	26,287	**24,386**	- 7.2

（参考）AED販売台数（台）	60,100	**56,100**	- 6.7
うち国内販売台数（台）	33,600	**30,700**	- 8.6

	2026/3 上期	**2027/3 上期**	増減率（%）
生体情報モニタ合計	37,559	**40,680**	8.3
うち臨床情報システム群	1,998	**2,837**	42.0

	2026/3 上期	**2027/3 上期**	増減率（%）
検体検査装置	6,371	**6,746**	5.9
画像診断装置他 ※	11,848	**11,533**	- 2.7
その他合計	18,220	**18,279**	0.3

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事･保守サービスを含みます。

*2026年12月末に取り扱い終了予定のアボット製品を含みます。

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 商品群別売上高の内訳は、ご覧のとおりです。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

6）財政状態

（単位：百万円）

	2026/3 前期末	2027/3 上期末	増減額
流動資産	177,808	**170,710**	- 7,098
棚卸資産	55,992	**53,459**	- 2,533
有形固定資産	32,250	**31,127**	- 1,123
無形固定資産	27,222	**27,142**	- 79
投資その他資産	19,256	**20,585**	1,328
資産合計	256,538	**249,566**	- 6,972

	2026/3 前期末	2027/3 上期末	増減額
流動負債	49,428	**43,138**	- 6,290
有利子負債	50	**50**	—
固定負債	27,286	**26,054**	- 1,231
有利子負債	22,388	**21,111**	- 1,277
純資産	179,824	**180,373**	549
負債・純資産合計	256,538	**249,566**	- 6,972

棚卸資産回転月数（カ月）	5.9	**5.9**	
自己資本比率	70.1%	**72.2%**	

【流動資産の減少の理由】
受取手形及び売掛金　△179億円

【流動負債の減少の理由】
支払手形及び買掛金　△42億円
未払費用　△11億円

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 財政状態はご覧のとおりです。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

7）キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

	2026/3 上期	**2027/3 上期**	増減額
Ⅰ営業CF	11,740	**18,992**	7,252
Ⅱ投資CF	- 2,001	**- 1,260**	741
FCF	9,739	**17,732**	7,993
Ⅲ財務CF	- 3,179	**- 3,898**	- 718
換算差額	- 84	**- 89**	- 4
増減額	6,474	**13,744**	7,270
期末残高	49,535	**59,382**	9,846

	26/3上期	27/3上期	増減
税金等調整前中間純利益	67億円	30億円	△36億円
売上債権の増減額（増加：△）	134億円	178億円	+44億円
棚卸資産の増減額（増加：△）	△41億円	23億円	+64億円
仕入債務の増減額（減少：△）	△9億円	△40億円	△30億円
法人税等の支払額	△37億円	△11億円	+25億円

	26/3上期	27/3上期	増減
配当金の支払額	△26億円	△25億円	+0億円

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- キャッシュ・フローはご覧のとおりです。
  期末残高は593億円となりました。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

8）設備投資と研究開発費

（単位：百万円）

	2026/3 上期	**2027/3 上期**	増減額	2026/3 実績	2027/3予想 期初	2027/3予想 11月10日修正
設備投資	1,721	**1,661**	- 59	7,807	6,000	6,000
減価償却費	2,164	**2,649**	484	4,757	6,000	6,400
研究開発費	3,339	**3,596**	257	7,453	7,700	7,700

●2027/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、新CRM※1の導入

PLM/MES※2システム　設備投資額：約30億円

＜ 23/3：3億円、24/3：5億円、25/3：9億円
26/3：9億円、27/3：3億円～

PLMシステム：2025年9月稼働
MESシステム：2025年11月稼働

鶴ヶ島生産センタ　総投資額：約110億円

＜ 23/3：23億円（土地取得）、～25/3：41億円
26/3：29億円（建屋・設備等）
27/3：3億円（設備等）～

着工：2024年7月
建屋竣工：2025年10月
稼働：2026年3月

※1 CRM（Customer Relationship Management）：顧客関係管理。営業活動を組織化・効率化するSFA（Sales Force Automation）機能を含む
※2 PLM（Product Life-cycle Management）：製品ライフサイクル管理、MES（Manufacturing Execution System）：製造実行システム

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

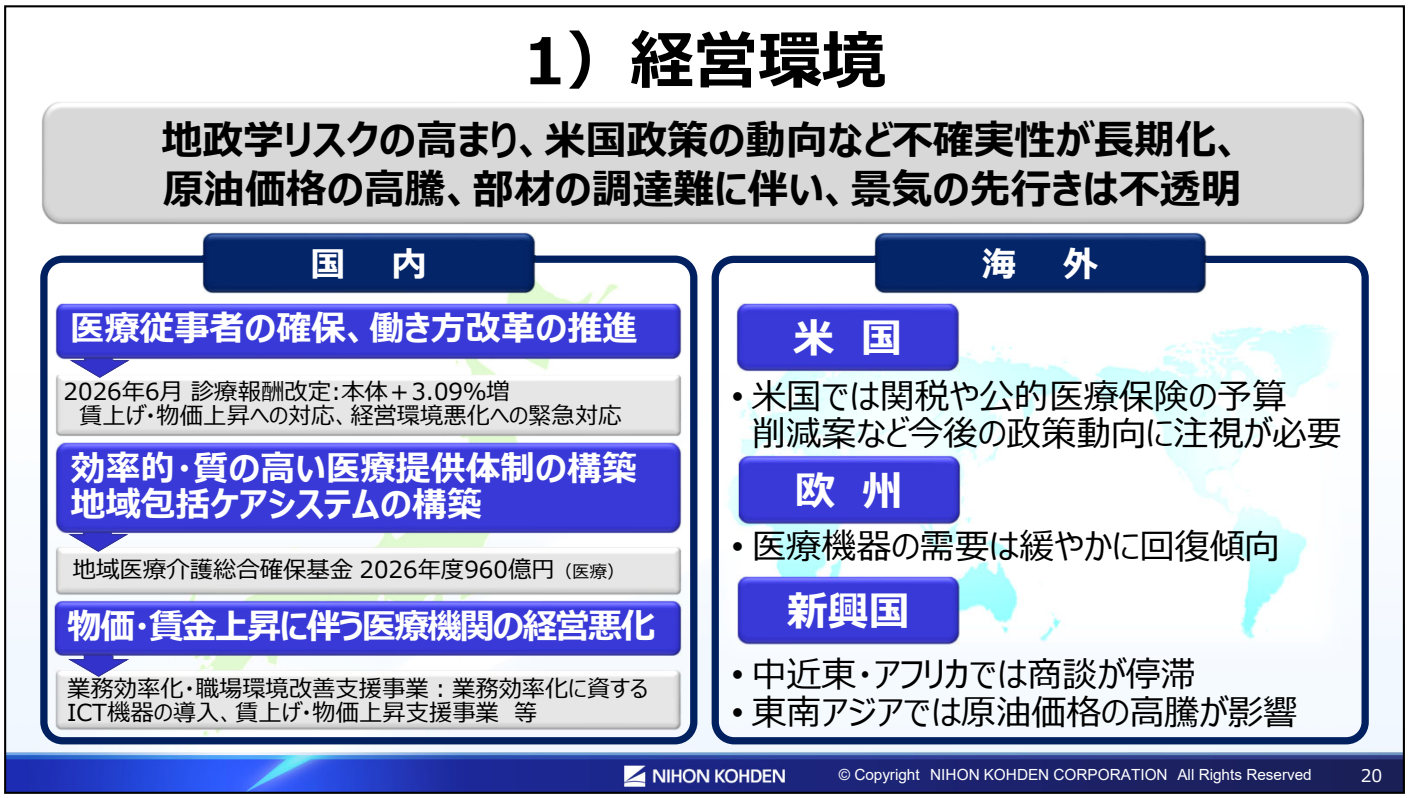
- 通期の設備投資、研究開発費の予想に変更はありません。
  減価償却費はアドテック社の決算期変更を受け見直しました。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

2 通期の業績見通し

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved



- 地政学リスクや米国政策の動向など不確実性が長期化する中、
  原油価格の高騰や、部材の調達難が顕在化しています。

- 国内では、補正予算の投入や診療報酬改定を受け、
  病院経営は改善傾向にあるものの、賃上げ・物価上昇への対応が
  優先的に進められています。
  経営環境の緩やかな回復に伴い、期末に向けて設備投資意欲の回復が
  見込まれます。

- 海外では、米国での関税や公的医療保険の動向に注視が必要ですが、
  病院の設備投資は堅調に推移すると見ています。
  一方、中近東・アフリカ、東南アジアでは、中東情勢の影響が懸念されます。

- グローバルな経営環境の変化に対して、
  従来以上に迅速かつ機動的な対応が求められています。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

2）通期の業績見通し

（単位：百万円）

	2026/3 前期実績	2027/3予想 期初	2027/3予想 11月10日修正	増減率 (%)
売上高	235,099	232,500	228,500	- 2.8
国内売上高	144,406	133,500	126,000	- 12.7
海外売上高	90,693	99,000	102,500	13.0
売上総利益	121,726	129,000	125,000	2.7
（売上総利益率）	51.8%	55.5%	54.7%	
販管費	102,981	105,500	108,000	4.9
（販管費率）	43.8%	45.4%	47.3%	
営業利益	18,745	23,500	17,000	- 9.3
（営業利益率）	8.0%	10.1%	7.4%	
経常利益	22,544	23,500	16,000	- 29.0
親会社株主に帰属する当期純利益	14,513	15,000	10,500	- 27.7
海外売上高比率	38.6%	42.6%	44.9%	
平均レート（円） 1米ドル/1ユーロ	150.5/174.2	150/175	158/181	（下期） 157/178

- 為替・アドテック社決算期変更・アボット影響除く：＋4%
- アボット影響除く：＋2%
- 為替影響除く：＋8%
  為替・アドテック社決算期変更影響除く：+6%

【地域別海外売上高】

	2026/3 前期実績	2027/3予想 期初	2027/3予想 11月10日修正	増減率 (%)
北米	49,808	56,300	58,300	17.0
中南米	5,613	6,200	6,400	14.0
欧州	13,649	13,800	14,100	3.3
アジア州他	21,621	22,700	23,700	9.6
海外計	90,693	99,000	102,500	13.0

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 通期の業績見通しにつきましては、上期の実績および最近の業績動向を踏まえ、売上高、利益をそれぞれご覧のとおり見直しました。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

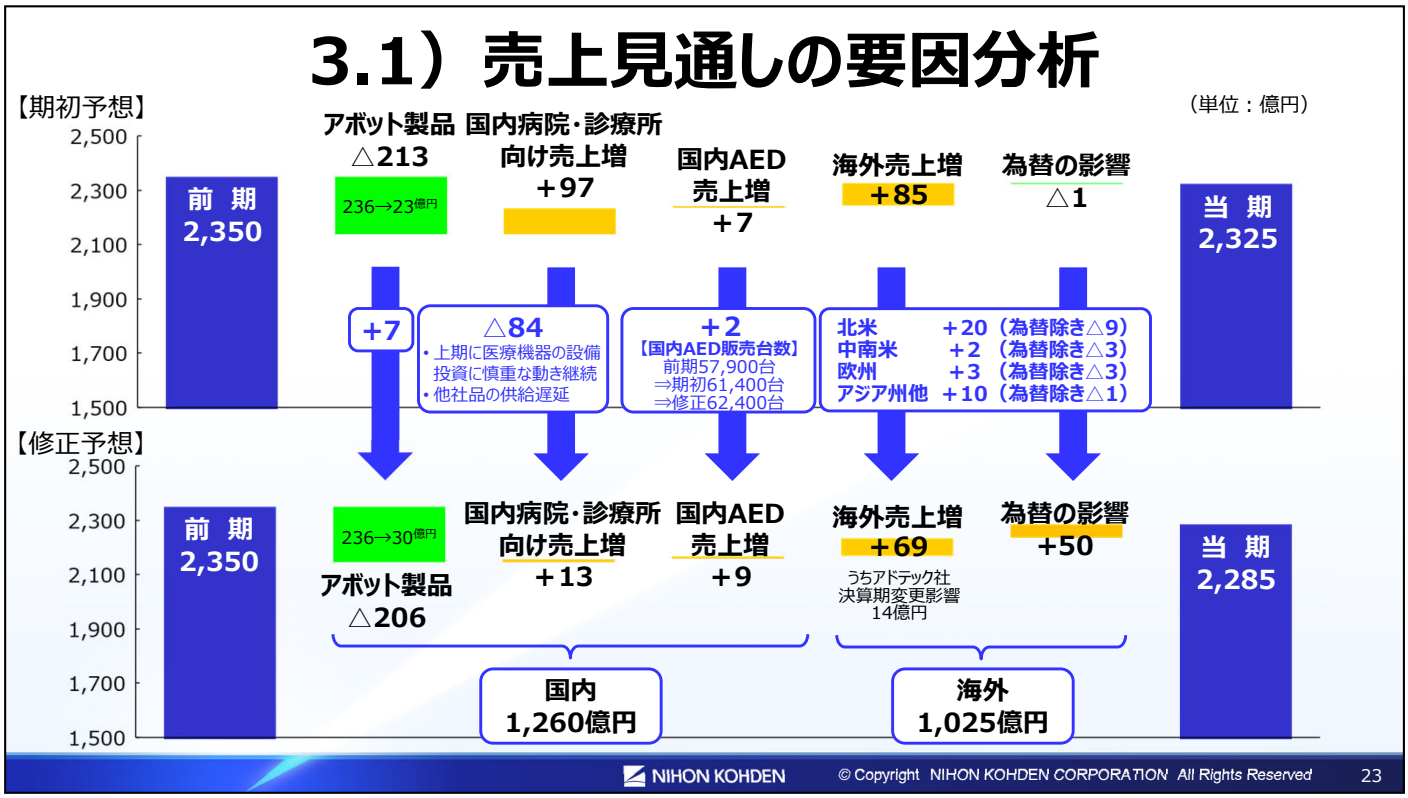
3）通期業績見通し 修正のポイント

通期売上高 （期初予想から40億円減）	国内売上高 （同75億円減）	• アボット影響除く＋2% • 上期における医療機器の設備投資に慎重な動き、他社品の供給遅延等の影響を反映 • AEDは2Qから回復傾向にあり、期初予想を上回る見通し
	海外売上高 （同35億円増） 為替51億円増 アドテック社14億円増 実質30億円減	• 円ベース＋13%、為替・アドテック社決算期変更影響除く＋6% • 全ての地域で増収を目指す（北米＋10%） • 下期は、北米、インド、東南アジアを中心に医療機器の需要は底堅く推移する見通し。AEDの代理店向け売上の減少、中東情勢の影響による商談停滞を見込む
営業利益 （同65億円減） 経常利益 （同75億円減） 純利益 （同45億円減）		• 売上高、粗利率が期初予想を下回る見込み。 粗利率は、商品ミックスの改善により前期から良化の見込み。 期初予想に対しては、部材価格の上昇や国内での消耗品の価格競争により下回る見通し 販管費は、為替・アドテック社決算期変更影響除くと、期初計画から抑制 • 下期：売上高＋1桁半ば（為替・アドテック社決算期変更・アボット影響除く）；国内＋1桁前半/海外＋1桁後半。営業利益＋1桁後半（粗利率54%台、販管費の伸びを抑制）

※ 中東情勢の影響：売上高△18億円、営業利益△12億円（売上の減少、輸送費の上昇）を期初の通期業績予想に織り込み済

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

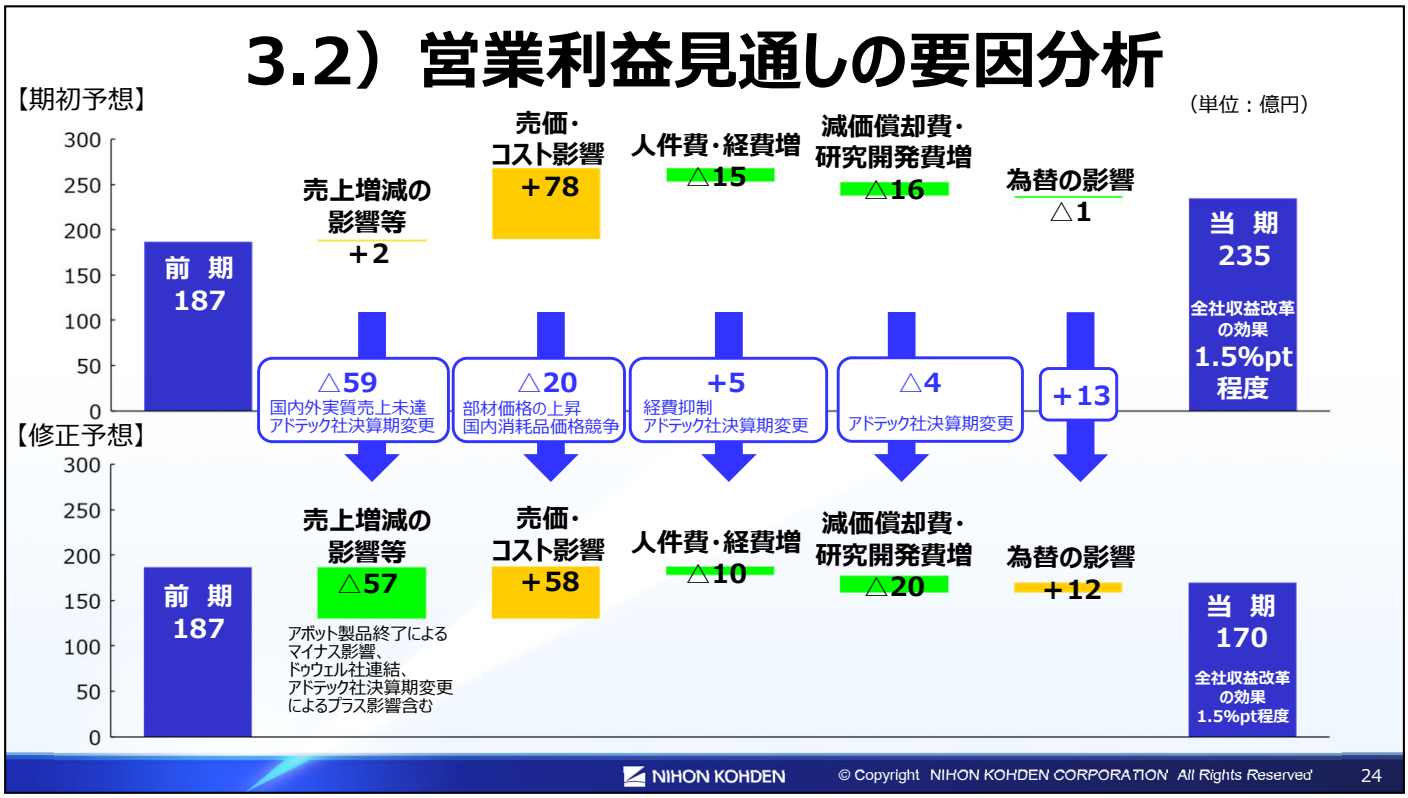
© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved



- 国内売上高は、上期において医療機器の設備投資に慎重な動きが継続し、他社品の供給遅延等もあることから、期初予想から75億円減少する見通しです。
  AEDについては、第2四半期から回復傾向にあり、期初予想を上回ると見ています。

- 海外では、全ての地域で増収を目指します。
  為替とアドテック社決算期変更の影響を反映し、
  期初予想から円ベースで35億円の増加、
  実質ベースでは、30億円の減少に見直しました。
  上期は、欧州における大口商談の受注や為替の円安効果もあり、
  想定を上回って推移しました。
  下期は、北米、インド、東南アジアを中心に医療機器の需要は底堅く推移する一方、AEDの代理店向け売上の減少や中東情勢の影響による商談の停滞を見込んでいます。
  北米では、人工呼吸器、脳神経機器が引き続き好調に推移すると見ています。
  生体情報モニタはデジタルヘルスソリューション（DHS）製品と組み合わせた付加価値提案により競争力は高まっているものの、商談の大型化・長期化により、期初に想定していた伸びには届かない見込みです。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved



- 営業利益につきましては、売上高が期初予想を下回るとともに、
  粗利率の改善が部材価格の上昇や国内での消耗品の価格競争により
  想定に届かない見込みであることから、170億円に見直しました。

- 下期においては、為替およびアドテック社の決算期変更、
  アボット製品の取り扱い終了の影響など特殊要因を除くと、
  国内で一桁前半、海外で一桁後半の伸びを見込んでいます。
  引き続き自社品の販売に注力し、粗利率54%台を確保し、
  販管費の伸びを抑制することで、営業利益は、一桁後半の増益を目指します。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

［参考］商品群別売上高見通し/為替の影響

	2026/3	2027/3			増減率	(単位：百万円)
	実績	期初	11月10日修正	構成比(%)	(%)	
生体計測機器	53,636	41,200	43,400	19.0	- 19.1	←アボット影響除く：＋10%
生体情報モニタ	84,258	92,300	89,900	39.3	6.7	
治療機器	56,286	54,900	53,900	23.6	- 4.2	←アボット影響除く：＋9%
その他	40,918	44,100	41,300	18.1	0.9	
売上高合計	235,099	232,500	228,500	100.0	- 2.8	

(参考)

医療機器	115,996	126,500	124,400	54.4	7.2	
消耗品・サービス	119,103	106,000	104,100	45.6	- 12.6	←アボット影響除く：＋4%

為替感応度の概算値（年間）

	売上高	営業利益
米ドル	4.5億円	1.2億円
ユーロ	0.6億円	0.2億円

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 商品群別の売上高見通しについては、ご覧のとおり、上期業績を踏まえ、修正しました。

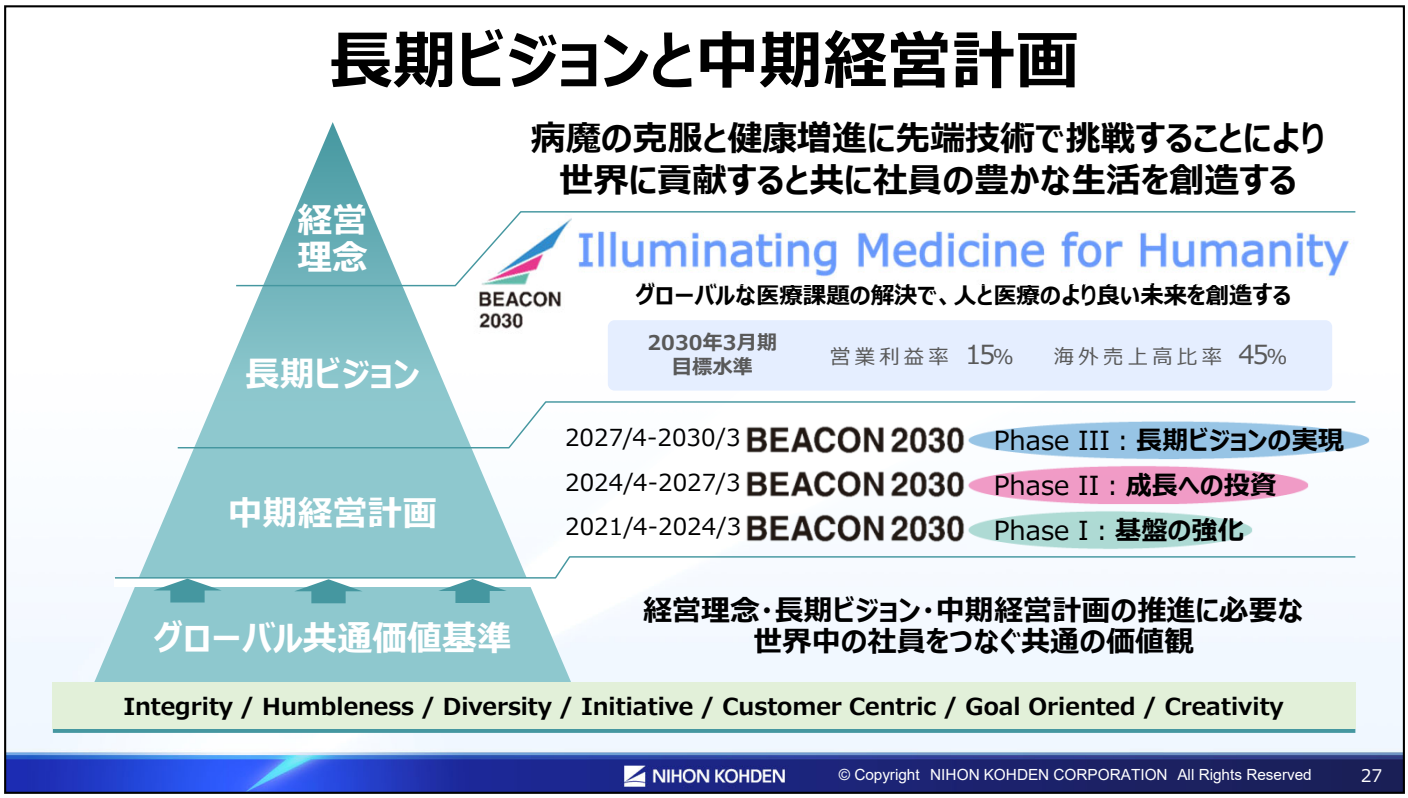
- 為替感応度はご覧のとおりです。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3 当社の経営戦略

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved



- 日本光電は2030年に向けた長期ビジョン「BEACON 2030」において、「グローバルな医療課題の解決で人と医療のより良い未来を創造する」ことを目指しています。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

長期ビジョン実現に向けた3つの変革

BEACON 2030

1　グローバルな高付加価値企業への変革

- 海外事業の高成長と収益性向上を主軸とした事業戦略の推進
- 国内事業における価値提案の高度化および新規事業の育成
- グローバルな事業基盤を活用した新たなビジネスモデルの創出

2　顧客価値を追求するソリューション型事業への変革

- 医療の課題を解決するビジネスモデルへの変革
- HMI※を核としてデータから価値を生み出す価値創造モデルの実現

3　オペレーショナルエクセレンスを軸とするグローバル組織への変革

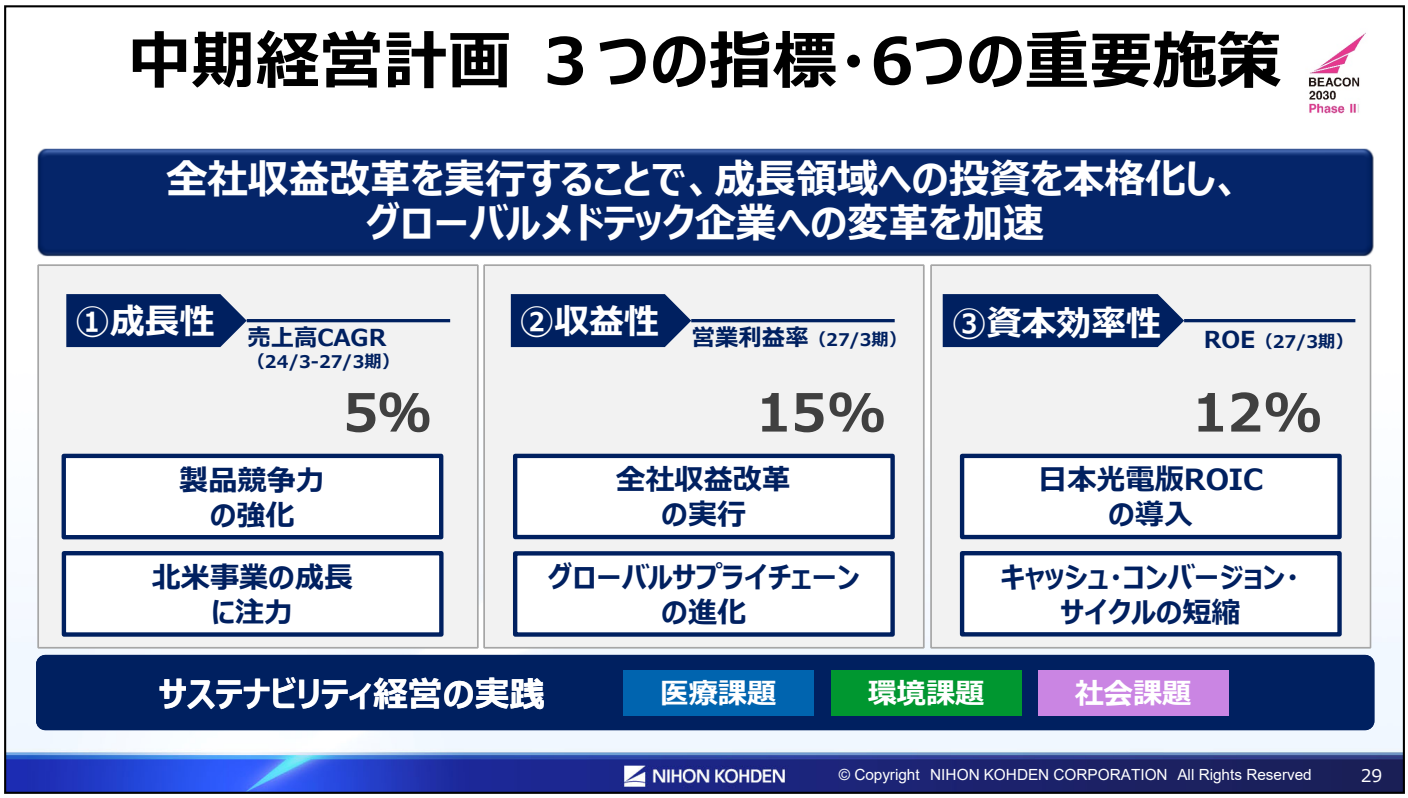
- 全社戦略に基づく組織体制およびガバナンス体制の確立
- グローバルサプライチェーンマネジメントを軸とする開発・生産・販売体制の確立
- 重要な組織機能の集約化（COE：Center of Excellence）による、グローバルな事業展開力の強化

※ HMI（Human Machine Interface）：人間と機械との接点。当社の場合、センサ技術、信号処理技術、データ解析技術の総称。

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

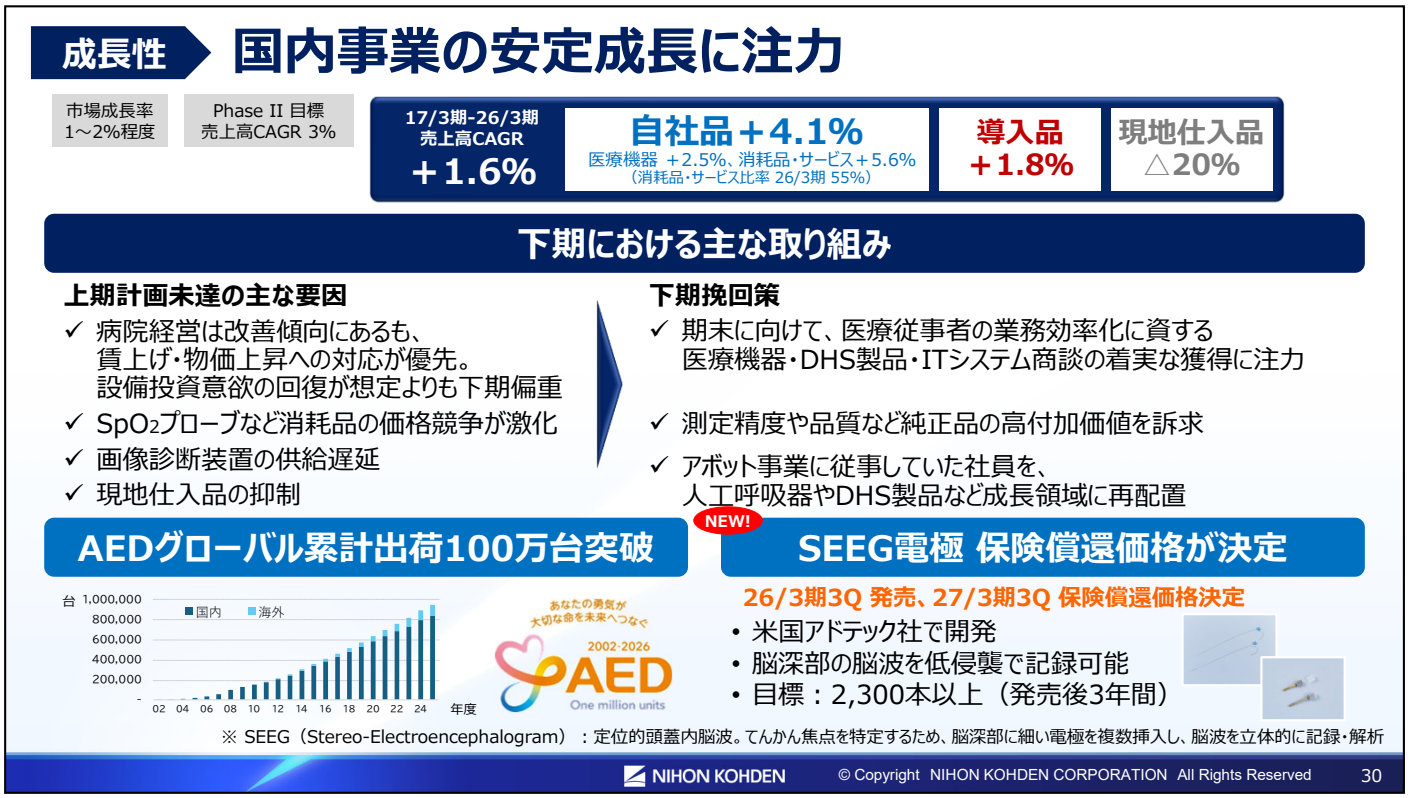
- 世界の潮流が大きく変化する中、
  長期ビジョンに掲げる3つの変革の重要性がますます高まっていると考えています。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved



- 最終年度を迎えた中期経営計画Phase IIでは、
  全社収益改革を実行することで、成長領域への投資を本格化し、
  グローバルメドテック企業への変革に取り組んでいます。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved



- 国内においては、医療機関における設備投資意欲の回復が想定よりも下期偏重となっていますが、期末に向けて、業務効率化に資する医療機器・DHS製品・ITシステム商談の着実な獲得に注力します。

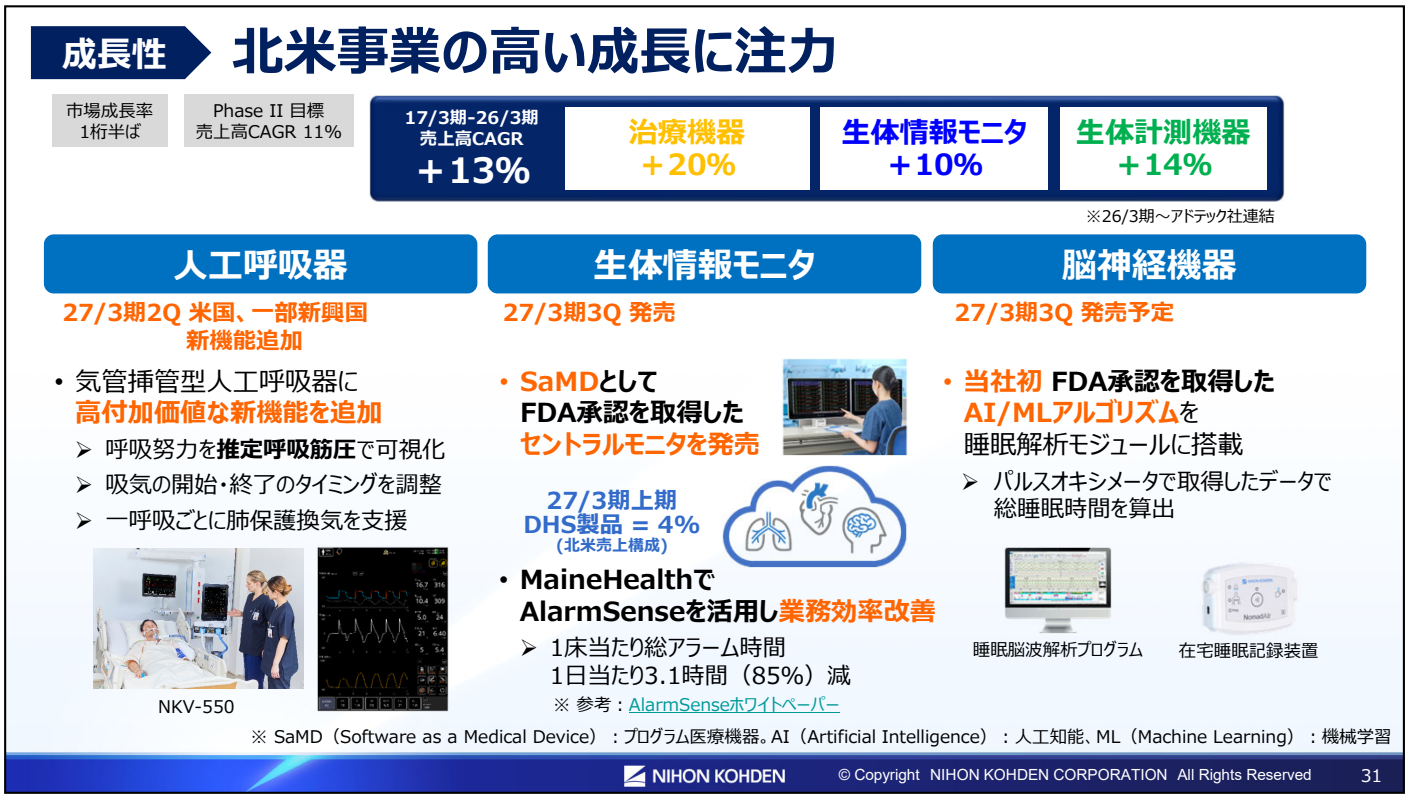
- 消耗品の価格競争の激化に対しては、測定精度や品質など純正品の付加価値を訴求し、挽回を図ります。

- アボット事業に従事していた社員の再配置は上期で概ね完了しており、自社品販売に注力し、売上成長につなげます。

- 2026年10月、AEDのグローバル累計出荷台数が100万台を達成しました。今後1年間、「あなたの勇気が大切な命を未来へつなぐ」という標語を掲げ、当社ブランド価値およびAED事業のさらなる成長を図ります。

- 米国アドテック社で開発したSEEG電極の保険償還価格が決定したことから、日本市場での販売活動を本格化します。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

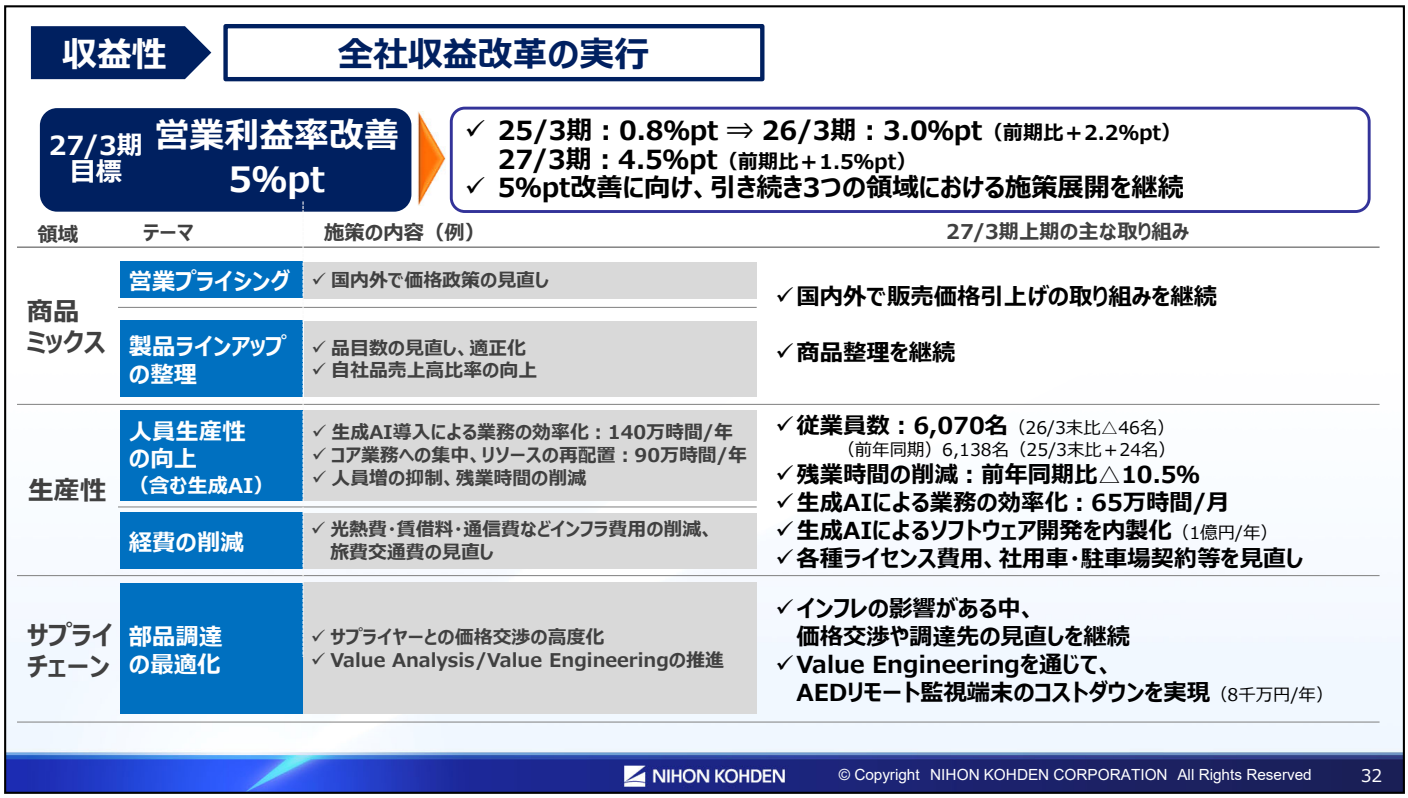


- 北米においては、人工呼吸器事業が急速に拡大しています。
  この度、気管挿管型人工呼吸器に新機能を追加しました。
  特に、患者さんの呼吸努力を推定呼吸筋圧でリアルタイムに可視化する機能は
  提案力の強化につながると期待しています。

- 生体情報モニタでは、SaMD（プログラム医療機器）として
  FDA承認を取得したセントラルモニタを発売しました。
  また、アラーム疲労の軽減を支援する AlarmSenseを導入した病院において、
  業務効率改善のホワイトペーパーが出ました。
  引き続きエビデンスを積み重ね、売上拡大を目指します。

- 脳神経機器では、当社として初めてFDA承認を取得したAIアルゴリズムを
  搭載する睡眠解析モジュールを、下期に発売する予定です。
  パルスオキシメータで取得したデータで総睡眠時間を算出し、
  睡眠診断の質の向上への貢献を期待しています。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved



- 全社収益改革については、
  3年間累計で営業利益率4.5%ポイントの改善効果を見込んでいます。

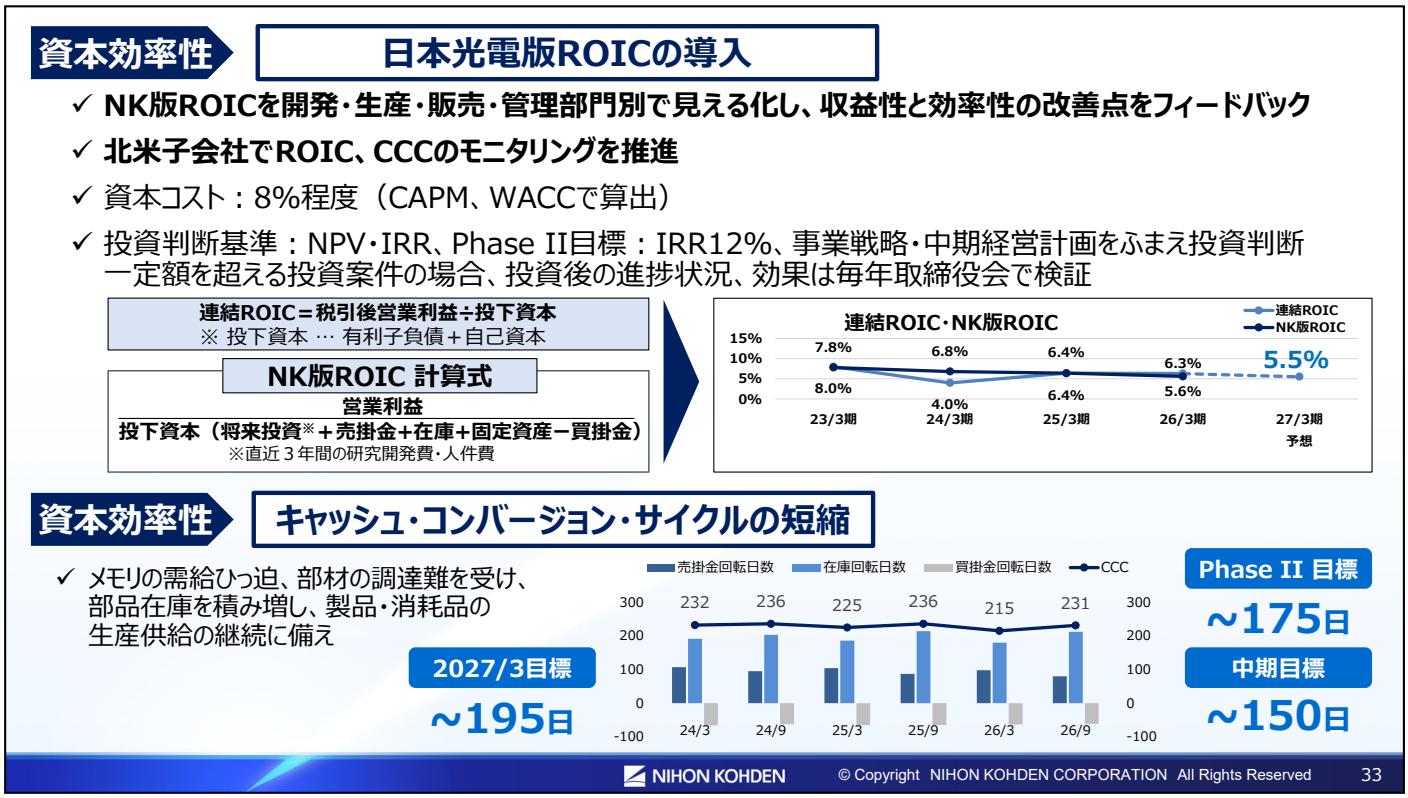
- 商品ミックスについては、国内および北米で販売価格引上げの取り組みを
  継続しています。

- 生産性の向上では、生成AIの活用等により、残業時間を削減、
  人員数の伸びが抑制されているほか、ソフトウェア開発の内製化や
  各種契約の見直し等により、経費削減効果も発現しています。

- サプライチェーンでは、想定以上のインフレもあり、
  施策効果の発現に遅れが生じているものの、コストアップ圧力の抑制や
  一部製品のコストダウンなど、一定の成果が得られています。

- 全社収益改革の効果は来期以降も発現するため、
  引き続き5%ポイントの改善達成を目指し、施策展開を強化します。

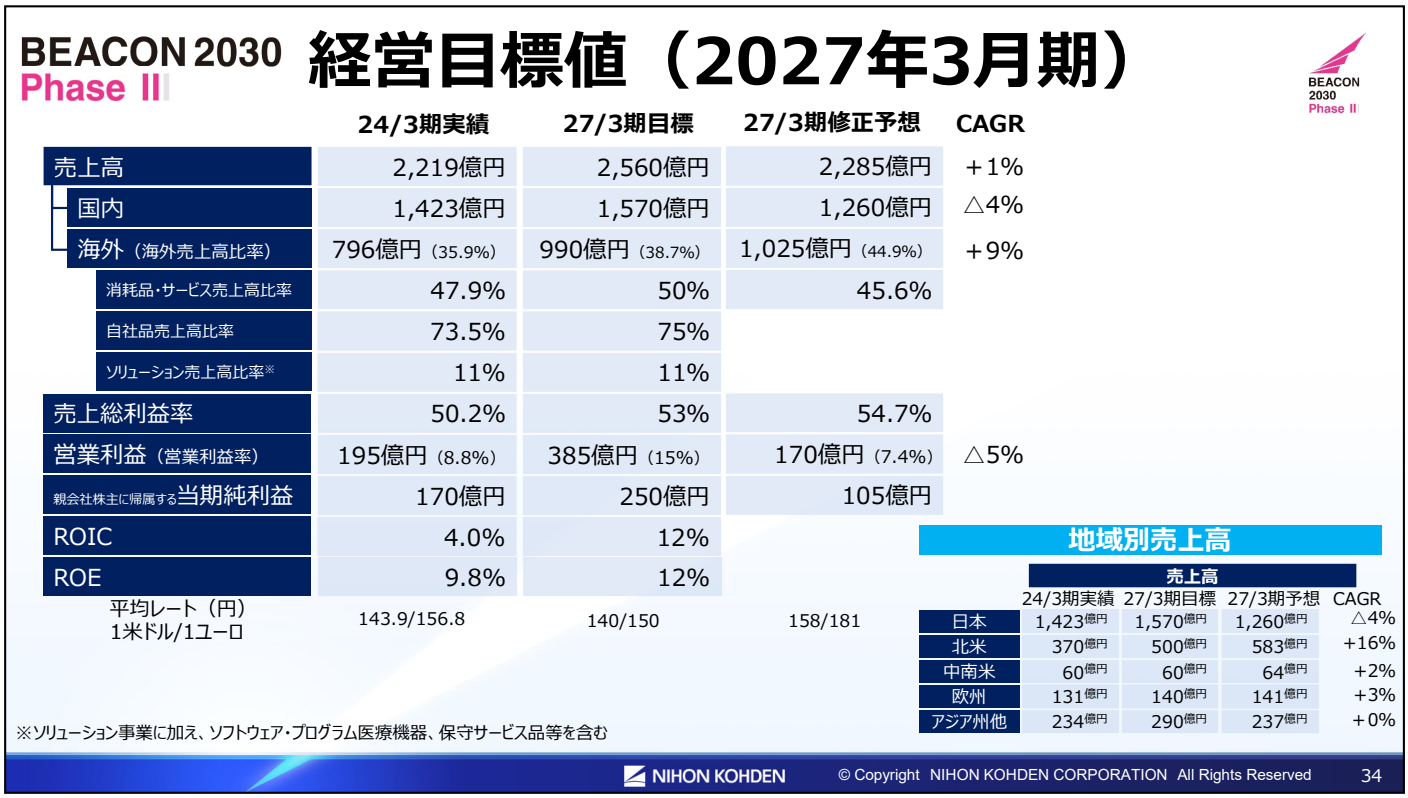
© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved



- 資本コストを意識した経営の実践に向けては、
  日本光電版ROICの導入、活用を進めています。
  部門別で収益性と資本効率性の改善点をフィードバックし、
  経営効率の改善につなげます。
  資本コストは、現在8%程度と見ています。

- キャッシュ・コンバージョン・サイクルについては、
  前年同期から短縮したものの、231日に留まりました。
  引き続き、メモリの需給ひっ迫、部材の調達難に備える
  必要はありますが、在庫管理の強化、債権回収の早期化に取り組み、
  195日への回復を目指します。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

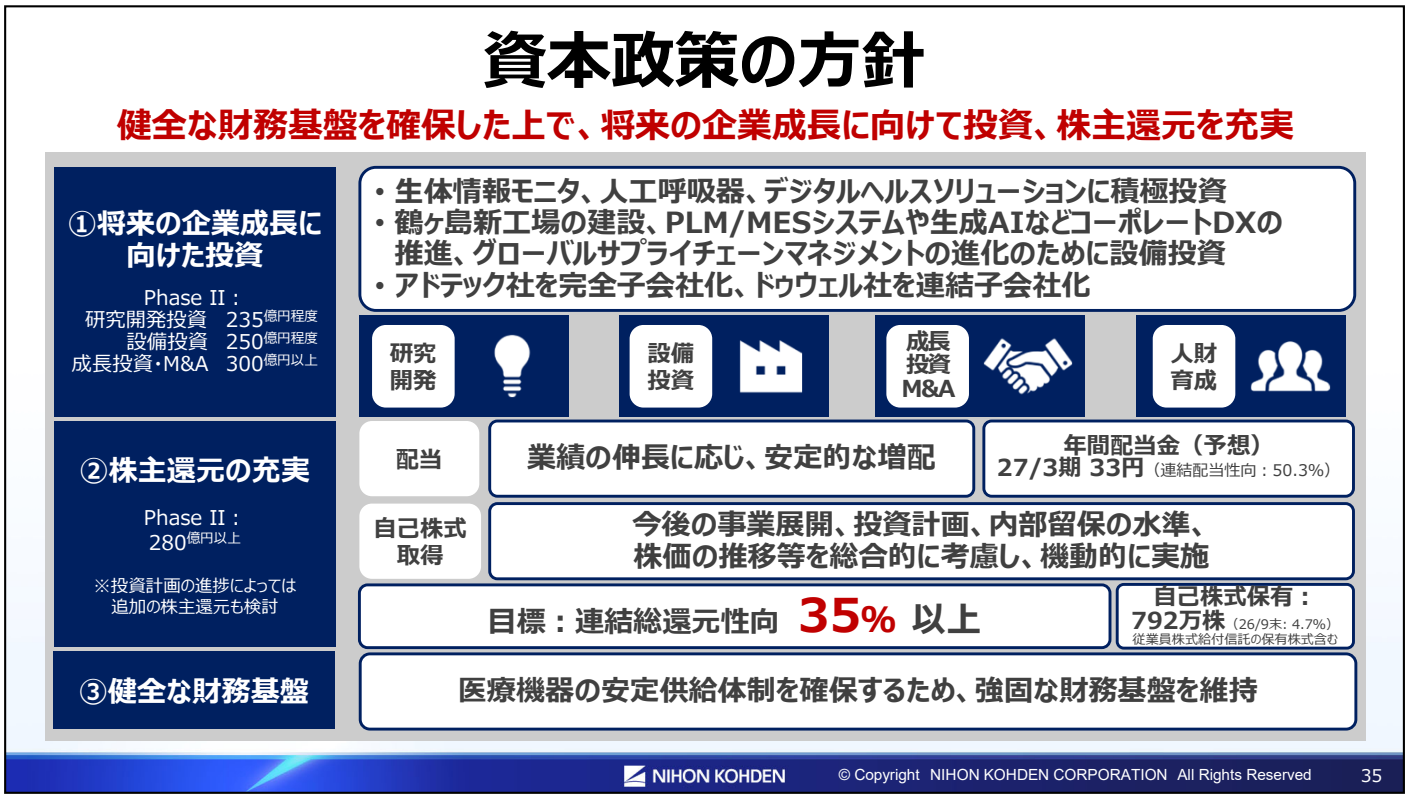


- 2027年3月期の経営目標値と最終年度予想はご覧のとおりです。

- 成長性、収益性、資本効率性の改善に向けた施策は着実に進んでいるものの、
  トップラインの成長が想定どおりに進まず、経営目標値から大きく乖離しています。

- 事業環境の急激な変化に適応するため、事業成長および
  組織的な生産性の一層の向上が必要であり、
  次期中期経営計画に向け、態勢の立て直しを図ります。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved



- 資本政策につきましては、ご覧のとおりです。

- 株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策の一つと位置付けており、
  健全な財務基盤を確保した上で、将来の企業成長に向けた投資と
  株主還元の充実を図ることを基本方針としています。

- 当期の年間配当金は33円、配当性向は50.3%の予想です。

- 自己株式につきましては、2026年6月に300万株を消却し、
  保有比率は4.7%となっています。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。
従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。
また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】経営戦略統括部
【連 絡 先】TEL03-5996-8003

NIHON KOHDEN © Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

- 事業環境の不確実性が高いことは否めませんが、
  通期見通しを再度引き下げる結果となったことを、経営陣一同重く受け止めています。
  下期には増益基調へと挽回を図り、次期中期経営計画における飛躍につなげます。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved